

今回もOSBEELS（オレゴン州試験ボード）のウェブサイトに掲載されている、Examinations & Qualifications Committee（試験資格審査委員会）の議題・議事録から気になるトピックをお知らせします。今回は2012年10月12日の議事録が対象となります。今回非常に短いです！

- 委員会では、コンピュータ・ベース試験の受験許可に関して、National Council of Examiners of Engineering and Land Surveying (NCEES) の4モデルの提案のうち、一度の許可につき一度の受験しか認めない、という案を適当として、Board meetingに照会した。  
FE試験は、2014年からコンピュータ・ベースとなる予定です。  
<http://cbt.ncees.org/the-computer-based-testing-experience/>

#### Comity (他州エンジニア) 申請

- Civil engineer

本業の雇用主に無断で副業をしており、本業のリソースを副業に使用していたとして、Texas州ボードに懲罰措置を取られていた。彼は罰金を支払い、倫理のコースを修了した。

⇒ Texas には復職しており、また申請過程でこの違反について報告しているとのことで、Comity 許可。  
罰金取られるほどの懲罰というのは、相当なものに思えますが。

- Civil engineer (前回8月10日分からの継続審議)

Florida 州ボードで懲罰措置を受けている。また、New York、Wisconsin 及びVirginia 各州でも、Florida 州の懲罰措置に準ずる相互措置として懲罰措置を受けている。

⇒ Comity 不許可。Wisconsin 州での謹慎期間が完了してから、再申請するよう勧める。

- Civil engineer

NCEES の履修歴評価では、2001年に授与されたMechanical Engineering 学位は一般教養において11単位不足。更に、2002年10月にNCEES のFE 試験合格に合格したことを証明するTexas 州ボードの公式文書、2008年10月にNCEES のCivil のPE 試験に合格したことを証明するColorado 州ボードの公式文書、及び5年間の職歴と6通のリファレンスを提出。

⇒ Comity 許可。